

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 橋梁・高架

ボーリング名	B-3-No. 7		調査位置		広島県安芸郡熊野町初神地内（三谷川橋梁）					北緯		34° 21′ 54.8545″		
発注機関	広島県西部建設事務所					調査期間		2021年 10月 6日 ～ 2021年 10月 11日			東経		132° 35′ 18.3724″	
調査業者名				主任技師		現 場 代 理 人		コ ン 定 者		ボーリング責任者				
孔口標高	T. P. 258.74m		<div>角 度</div> <div></div>	<div>方 位</div> <div></div>	<div>地盤勾配</div> <div></div>	使用機種	試験機 東邦地下工業 D0-D							
総削孔長	9.00m						エンジン	ヤンマー NFD-8		ポンプ	ヤンマー CP-65			

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験							試験採取		室内位置試験	削孔月日											
												深度－N値図							深	100mmごとの打撃回数			打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試験番号	採取方法					
(m)	(m)	(m)										N	度	値	(m)	0	100	200	300				(m)										
1	258.14	0.60		礫混じり砂		淡褐			現世	造成土に相当する砂質土。砂分は粗中砂主体。礫分は最大30mm。	10.09 1.73		4	1.15	2	2	4																
2	256.94	1.80		シルト混じり砂		暗褐	rd1		新生代第四紀	原地盤に相当する堆積土。暗色が強く表土様である。砂分は細砂主体～粗砂主体へと下方に粗粒化する。礫分は細礫が大勢を占める。	10.09 1.73		38	2.15	8	9	21	38											10 7				
3				玉石混じり砂礫		褐	rd4			玉石分はコア長8～26cmで採取される。その他の礫分はφ20～50mmで採取されるが、一部を切り取られた状態にあり、実体径はさらに大であると推測される。マトリクスは粗砂～細礫から構成され、細粒分には乏しい。	10.09 1.73		183	3.15	50	80	50	80															
4	254.74	4.00				黄白				花崗岩の強風化部（軟岩I）。高角度に変質を伴い、岩組織はほぼ失われている。コアは固結砂状で、強く押せば崩れる。II級。	10.09 1.73		167	4.15	90		90	90															
5	254.24	4.50		強風化花崗岩						花崗岩の強風化部（軟岩I）。高角度に変質を伴い、岩組織はほぼ失われている。コアは固結砂状で、強く押せば崩れる。II級。	10.09 1.73		375	5.00	40	50	40	40												10 8			
6						赤褐			中生代白亜紀	花崗岩の強風化部（軟岩I）。全体に弱い変質やや強い酸化変色を作る。コアは10cm以下の短柱状を呈するが、分離に至っていない。ハンマーで叩けば角礫状に分解しうる。一方、岩芯風化の程度は弱く、分解した岩片は中礫級以上の硬さを保っている。7.3m付近から風化・酸化変色は弱まり始め、7.9m以深の岩盤は比較的安定している。CⅡ級。岩盤は近いと推定される。	10.09 1.73		500	6.00	30	50	30	30															
7														7.00	貫入不能	50	0																
8														7.00																			
9	249.74	9.00												8.00	貫入不能	50	0														10 9		
10														9.00	貫入不能	50	0																